



各 位

令和8年6月11日

株式会社 赤阪鐵工所

公用車に「B5 軽油」を利用する実証実験を開始

当社赤阪鐵工所は、この度、地元である静岡県焼津市と連携し、同市の公用車に「B5 軽油（バイオディーゼル燃料 5%と軽油 95%を混合）」を利用する実証実験を開始しました。

本実験は、別の事業者が廃食用油を原料とするバイオ燃料と軽油を混合して「B5 軽油」を製造し、当社が焼津市の公用車に供給するというものです。今年 12 月末までの期間、車体の走行性やエンジン挙動、フィルター詰まりの有無などの技術面や、CO² 排出の削減量など環境面の評価を基に、燃料の実用性を検討します。

当社は、船舶などの脱炭素を図る取り組みの一環として、2024 年 11 月、廃食油からバイオ燃料を精製・製造するプラントを整備し、バイオ燃料製造・供給事業を展開してきました。当社では、FAME（脂肪酸メチルエステル）と呼ばれるバイオ燃料を製造しておりますが、FAME には、エステル反応したもの（粗バイオ燃料）と、エステル反応した後に減圧蒸留したもの（高純度バイオ燃料）があり、当社が製造する高純度バイオ燃料は粗バイオ燃料と比べてエンジントラブルを誘発せず、信頼性が高いことが大きな特徴です。

本実験に際し、当社は 5 月末に同市と覚書を締結し、6 月 9 日に当社中港工場にて初めての給油を行いました。自治体と地元企業が連携し、公用車にバイオディーゼル燃料を活用するのは、県内でも珍しい取組となります。今後は、近隣市町村で回収した廃食用油を当社プラントで精製・活用する『地産地消』の資源循環の構築を目指します。

本実験を皮切りに、内航船や港湾関連分野でのバイオ燃料活用にも展開することを目指し、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

